

ボート部・カヌー部代表者 各位

BOAT TIMES

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL : 077-573-8001 FAX : 077-573-8002

URL : <http://www.k-boat.co.jp> E-mail : kuwano@k-boat.co.jp

KUWANO FAX 通信

<Vol. 91>

2012/ 11 / 20 発行

編集 武藤 智子



新米社長・工場見学シリーズ第二弾は、木工室の紹介です。ここでは細かな部材を作っています。木工といってもカーボン艇になり、木材以外の部材も扱うようになっていきます。例えばリブ(リガーフレーム)。樹脂を含浸させたカーボン繊維を積層して作りますが、山田さんが大きなピンセットを両手に、ターンテーブルに載った型に、素早く繊維を貼っていきます。まるで何か料理を作っているような、まさに職人ワザ！いやもっと何かに似ているなあこの姿…あっバルタン星人だ！「フオッフオッフオッフ」と山田さん(…は作業中なので社長の相手をしているヒマはない。ゴメンなさい)この後は治具をセットして余分な樹脂を絞り出し加熱硬化させます。造船工程は細かく見ていくと面白いことがたくさんあります。次回もお楽しみに！【小沢】

●中国訪問、WinTech 会議に参加しました 【小沢】

このたび、中国の WUDI (ウディ) 社を 3 名で訪問しました。上海から車で 3 時間、杭州市の西隣、富陽(フーヤン)市に大きな工場があります。世界数カ国から WinTech 艇を扱うディーラーが集まったの会議でした。WUDI 社では、ボート設計の第一人者であるクラウド・フィルター氏や米国人技術者を招いて技術導入し WinTech 艇を生産しており、その艇を弊社でも扱っています。会議の内容は、新開発の艇やパーツなどについてで私にとって特に興味深いものでした。また中国でボートを造っている会社は他にもありますが、会社によっても品質はいろいろだと改めて実感しました。もちろん WUDI は頑張っていました。私にとっては初めての中国訪問でした。この頃騒がれている領土問題も、途中で大きな看板を見かけた以外、特に何もなく平和でした。ビジネスの場面ではお互いにその話には触れず気を遣っていましたが、本当は、政治問題をよそにビジネスが進むというよりも、ビジネスの平和で建設的な交流が政治にも好影響をもたらすといった流れになったらいいなと強く思いました。WUDI の工場には高々と日の丸も掲げられていて、ちょっとだけ不安もありましたが何事でもありませんでした。各国が互いに協力し、切磋琢磨し、品質をさらに向上させて、ユーザーの皆様がより満足できるボートづくりにつなげたいと思います。



●良いボートコースは選手のひと声で その 13 【岩佐】

《ゴール見通し板》 ランドマークの所で指摘しましたが、ゴール見通し板はコックスしか見ることが出来ません(8+, 4+, 4X+, 2+艇です)。コックス・レスの艇は、まったく見ることが出来ません(4-, 4X, 2-, 1X 艇です)。コックスは舵取りが専門ですので、この見通し板も見ることが可能です。コックスのいない艇では、選手が必死で漕ぎつつ、コースを操作しています。死に物狂いで漕ぎつつ、まっすぐをと、大変なことをしています。

このゴール見通し板、ゴールからの距離により大きさもまちまち、とてつもなくデカイのも過去にありましたが、ふつうは 1m x 2m 位のものになります。舵手無艇にとっては、ランドマークの裏側がゴール見通し板になります。ゴール手前 250m 付近にこそゴール見通し板が吊り下がっていたら助かります。

当社は選手に優しいコース作りに励んでいます。コース作りの折には是非一言、声を掛けてください。

●Speed Coach GPS 新登場！

NK 社のスピードコーチに新商品が出ました！ストロークコーチに引き続きこちらの商品もワイヤレスとなっています。レートはストローク時の振動を感知して測定し、スピードは GPS を使って測定するようになっています(従来通りインペラーを用いての測定も可能です)。新しい機能として 1 ストロークあたりの距離も表示できるようになったので、一本一本集中した練習ができます。バックライトも搭載しているので薄暗い中での練習にも困りません。さらに、充電式になったので従来のようなボタン電池を使わなくても使用できるようになりました。

サイズは一回り大きくなっていますが、取付台座や T ブラケットなどは従来のものをそのままご使用になれます。

価格は 1 台 ¥36,000 (税込 ¥37,800) で、本体・ストラップ・ゴムバンパー・ポーチ・アダプター・充電器がセットとなっています(T ブラケット・アングルブラケットは付属していません)。



BOAT TIMES の配信停止をご希望される方は、お手数ですが FAX(077-573-8002) または E-mail(kuwano@k-boat.co.jp) で弊社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。次号は 12/20 発行予定です。